

文書番号	環境-EP000001	エコドライブ手順書	1／6 頁	8 版
			制定日 2018 年 1 月 1 日	

エコドライブ手順書

株式会社 斎藤英次商店

文書番号	環境-EP000001	エコドライブ手順書	2／6 頁	8 版
			制定日 2018 年 1 月 1 日	

目 次

	ページ
目次	 2
改訂履歴	 3
1. 目的	 5
2. 適用範囲	 5
3. エコドライブ実施手順	 5
4. 運用基準	 6
5. 監視・測定	 6
6. 異常時の処置	 6
7. 記録の管理	 6

文書番号	環境-EP000001	エコドライブ手順書	3/6 頁	8 版
			制定日 2018 年 1 月 1 日	

改訂履歴

版数	改定日	改訂理由・改訂内容	承認	確認	作成
1	2006/1/1	初版制定			
			2006/1/1	2006/1/1	2006/1/1
2	2007/5/1	5 監視・測定「燃料消費量=古紙仕入量／燃料」を「燃料消費量=燃料／古紙仕入量」に変更			
			2007/5/1	2007/5/1	2007/5/1
3	2007/11/1	3-1 (1) ①「暖機運転は夏場はおこなわず、冬場は 3 分以内とする」を、「暖機運転はおこなわない」と訂正。 3-1 (2) ⑤「ショベルは地面からバケットの底までの高さを 30 cm以内とする」を追加。 3-1 (3) ③「フォークリフトでプレスなどを運ぶ際、地面からプレスの底までの高さを 30 cm以内とする」を追加。 3-2 (1) ①「暖気運転は冬場のみ 5 分間とし、同時に PTO スwitch を入れ作動油温度も上げておくこと」を「暖気運転は行わない、アイドリング禁止」と訂正。 3-2 (2) ①「1700 回転以下で走行」を追加 3-2 (2) ④「無駄なアイドリングはしないこと」を削除。「シフトアップは 1200 回転以下で行うこと（空車時）」と訂正。 3-2 (2) ⑤「シフトアップは積載時 1500 回転以下で行うこと（定量）」を追加 3-2 (2) ⑥「惰力走行の活用と信号待ちでのエンジンストップ」を追加 3-2 (3) ③「1300 回転を超えないこと」を「1200 回転を超えないこと」と修正 5 「※収集部門の集計方法補足 期中に新規追加した車両については記録をとるだけで、集計には加えない。期中に廃車となった車両も集計から除外する」を追加			
			2007/11/1	2007/11/1	2007/11/1
4	2008/4/7	3-1 (2) ①(5 キロ未満を厳守)を追記。 3-2 (2) ⑥ハイマスト走行禁止（転倒防止）を追加			
			2008/4/7	2008/4/7	2008/4/7
5	2009/11/1	5. 監視測定「収集部門長は月間の燃料使用量と積載量を車両ごとに集計し、燃料積載量記録表を作成する。燃料消費量＝燃料使用量／積載量」を追加			
			2009/11/1	2009/11/1	2009/11/1

文書番号	環境-EP000001	エコドライブ手順書	4／6 頁	8 版
			制定日 2018 年 1 月 1 日	

版数	改定日	改訂理由・改訂内容	承認	確認	作成
6	2011/9/14	3-1 「機器類」を「重機類」に変更、括弧内に「クランプ」を追加 3-1 (2) ⑤「ショベルは地面からバケットの底までの高さを 30cm 以内とする」を「重機での走行時、ツメ・バケットの高さを地面から 30cm 以内とする」に変更。 3-1 (2) ⑥「ハイマスト走行禁止」を「ハイマスト状態での走行禁止」に変更。 3-1 (3) ③「フォークリフト」を「クランプ」に変更。 3-2「車両類」を「車輛類」に変更。 3-2 (3) ②『(雨の日などを除く)』を削除。 3-2 (4) ①「エアコンを使用しないこと」を「エンジンを止めること」に変更。 5 「収集部門長は、月間の燃料消費量を車両ごとに集計し、燃費記録表を作成する。 燃料消費量 = 走行距離／燃料」を削除。 6 「燃料消費量が継続して改善しない車両については、収集部門長が該当運転手にエコドライブに関する指導を行う。営業所部門長は営業所長に改善の指導を行う。」を「燃料消費量が継続して改善しない重機・車両については 重機 営業所部門長が該当する工場長に改善の指導を行う 車輛 収集部門長が該当する運転手に改善の指導を行う」に変更。			
			2011/9/14	2011/9/14	2011/09/14
7	2012/10/26	5「営業所部門長」を「工場部門長」に変更 6「営業所部門長」を「工場部門長」に変更			
			2012/10/26	2012/10/26	2012/10/26
8	2018/1/1	ISO14001:2015 年版 対応に改版			高橋
			2018/1/5	2018/1/5	2018/1/1

文書番号	環境-EP000001	エコドライブ手順書	5/6 頁	8 版
			制定日 2018 年 1 月 1 日	

1. 目的

本手順書は、燃料の無駄な使用を減らし、燃料資源の浪費を防止することを目的とする。

2. 適用範囲

本手順書は、当社の事業活動として行う車両運転・操作について適用する。

3. エコドライブ実施手順

3-1 重機類（フォークリフト・ホイールローダー・クランプ

（1）準備作業等

- ① 暖機運転はおこなわない。
- ② 始業点検は遵守し、必ずおこなうこと。

（2）走行時

- ① 安全速度で走行すること。（5 キロ未満厳守）
- ② 空ぶかしや無駄な走行は行わないこと。
- ③ 急発進、急加速、急減速は行わないこと。
- ④ 無駄なアイドリングはしないこと。
- ⑤ 重機での走行時、ツメ・バケットの高さを地面から 30 cm 以内とする。
- ⑥ ハイマスト状態での走行禁止（転倒防止）

（3）荷役時

- ① 過度のふかしはおこなわないこと。
- ② リリース時のふかしはおこなわないこと。
- ③ クランプでプレスなどを運ぶ際、地面からプレスの底までの高さを 30 cm 以内とする。

（4）その他

- ① 移動距離を最短にする工夫をすること。
- ② 清掃時に重機の使用は控えること。

3-2 車輛類

（1）準備作業等

- ① 暖機運転は行わない。アイドリング禁止。
- ② 始業点検は遵守し、必ず行うこと。

（2）走行時

- ① 安全速度で走行すること。1700 回転以下で走行。
- ② 空ぶかしや無駄な走行は行わないこと。
- ③ 急発進、急加速、急減速は行わないこと。
- ④ シフトアップは1200回転以下で行うこと。（空車時）
- ⑤ シフトアップは積載時1500回転以下で行うこと。（定量）
- ⑥ 惰力走行の活用と信号待ちでのエンジnstopp。

文書番号	環境-EP000001	エコドライブ手順書	6／6 頁	8 版
			制定日 2018 年 1 月 1 日	

(3) 積込み時

- ① パッカー車以外での積込み時はエンジンを止めること。
- ② 積込み作業時は、エアコンの電源を OFF にすること。
- ③ パッカー車での積込み時のエンジン回転数は、1200回転を超えないこと。

(4) その他

- ① 車両内で昼休憩をする際は、エアコンを止めること。
- ② 業務終了後は、速やかにエンジンを切りその後運転日報を記入すること。
(エンジンやエアコンを掛けながら、運転日報を記入しないこと。)

4. 運用基準

運転手は、第3項エコドライブ実施手順を遵守し、運転作業を行う。

5. 監視・測定

部門長は、月間の燃料消費量を営業所ごとに集計し、燃費記録表を作成する。

$$\text{燃料消費量} = \text{燃料} \div \text{古紙仕入量}$$

部門長は月間の燃料使用量と積載量を車両ごとに集計し、燃料積載量記録表を作成する。

$$\text{燃料消費量} = \text{燃料使用量} \div \text{積載量}$$

※収集の集計方法補足

期中に新規追加した車両については記録をとるだけで、集計には加えない。期中に廃車となった車両も集計から除外する。

6. 異常時の処置

燃料消費量が継続して改善しない重機・車輛については、部門長より業務指導部を通じて各営業所へ改善を指示する。

7. 記録の管理

記録の管理は、環境記録管理規定[環境-EM000012]に従う。